

令和5年度

学校要覧



三重県立城山特別支援学校

〒514-0818 津市城山一丁目5番29号
TEL (059) 234-3431 (事務室)

(059) 234-9460 (職員室)

FAX (059) 234-3432

ホームページ <http://www.mie-c.ed.jp/ssiroy/>

学校概要

昭和37年4月に県内唯一の養護学校として三重県立養護学校が設立されました。以来、肢体に障がいがある県内の児童生徒を受け入れ、肢体不自由教育を実施してきました。

昭和41年4月に高等部を設置し、小・中・高の一貫した教育が行えるようになりました。

昭和49年4月に筋ジストロフィー児のための分校が鈴鹿に設置され、昭和52年4月に独立したため、校名を三重県立城山養護学校と変更しました。

昭和54年度、養護学校教育の義務制施行にともない、隣接の草の実リハビリテーションセンター内に設置されていた分教室が草の実分校となりました。更に平成5年には草の実養護学校として本校より独立しました。なお、草の実リハビリテーションセンターには整形検診等の医療的な処置や指導を仰いだり、緊急時の対応をお願いしたりしていました。

平成13年度には県メディカルサポート推進事業研究指定を受けて、看護師が配置されました。

平成19年4月には、三重県立城山特別支援学校に校名を変更し、看護師免許を有する教員が常勤となりました。

平成21年4月には、三重県立草の実特別支援学校と統合し、草の実特別支援学校は城山特別支援学校草の実分校となりました。平成29年4月には城山特別支援学校草の実分校は「かがやき特別支援学校」に移管されました。

本校には、原則として県内の亀山市、鈴鹿市、津市に在住する肢体不自由児が就学しています。令和5年度の通学地域の再編に伴い、新入生・転入生の就学については、原則、津市在住の児童生徒を対象としています。また、知的障がいを合わせ有する児童生徒も在籍しており、近年の特徴として障がいが重度・重複化、多様化してきています。

校歌

作詞・作曲 鈴木正孝

一、はるかに輝く伊勢の海

潮の音 遠く 聞きながら

明るく 強く 生きようと

はげむ ぼくたち わたしたち

希望に燃えて 進もうよ

二、風さわやかな城山の

花咲きにおう 丘の上

やさしく 清く すこやかに

のびる ぼくたち わたしたち

心ゆたかに あゆもうよ

三、明るい太陽 光る雲

青空見上げて 胸をはれ

みんなの 道は 遠くても

未来を信じ サアいこう

ああわが母校 栄えあれ

目 次

1	本校のミッション（使命、存在意義）	1
2	目指す学校像	1
3	本校の教育目標	1
4	中・長期的な重点目標	3
5	沿革	4
6	教育課程	5
7	児童生徒数及び通学方法	1 3
8	出身市別児童生徒数	1 4
9	校時表	1 4
1 0	職員構成	1 4
1 1	卒業生の進路	1 5
1 2	スクールバス運行表	1 6
1 3	学校運営組織図	1 7
1 4	学校年間行事	1 8
1 5	校舎施設配置図	1 9
1 6	学校案内図	2 1

1 本校のミッション

中勢地域にある肢体不自由特別支援学校として、関係機関との連携をもとに、多様な教育的ニーズのある児童生徒に対して幅広い教育活動を展開し、自立と社会参加の促進を図るとともに、特別支援教育のさらなる充実を目指す。

2 目指す学校像

子どもたちの笑顔があふれ、豊かな学びができ、生活力が高まる学校

3 本校の教育目標

よりよく生きようとする力を育てる

一人ひとりの児童生徒が、安全・安心な教育活動のもとで自己の可能性を伸ばし、社会の一員として明るく強く生きる力を身につける。（校歌一節「明るく強く生きよう」とから）このために、以下の3点を“目指す姿”ととらえて教育活動を展開します

①明るくたくましい子（明朗）

自己の障がいの機能の改善と体力の向上に努め、明るくたくましく生きる力を育てる。

②自分でやりぬく子（自立）

自己のできることを増やし、自ら考え、自主的に解決していける力を育てる。

③助け合う心豊かな子（友愛）

視野を広め、社会性を養い、お互いの人格を尊重し協力し合う豊かな人間性を培う。

小 学 部	<ul style="list-style-type: none"> ○ 健康で丈夫なからだを育てる。 ○ 興味関心を持ち、自分でやってみようとする気持ちを育てる。 ○ 自分の気持ちを表現する力を育てる。 ○ 身近な人と関わる力を育てる。
-------------	---

中 学 部	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的な生活習慣を身に付け、健康で充実した心と体を育む。 ○ 自ら考え、行動し、主体的に生きる姿勢を養う。 ○ 自分の思いや意思を自分なりに表現し、相手に伝える力を育てる。 ○ 社会の中で、協調し合う態度を培うとともに、豊かな自己実現に向けた知識・技能や意欲を育てる。
-------------	---

高 等 部	<ul style="list-style-type: none"> ○ 健康的な生活を送るために必要なからだを育てる。 ○ 自己選択や自己決定する力を養う。 ○ 様々な集団行動において、お互いに尊重し合い、協力し合う態度を育てる。 ○ 豊かな社会生活を送るために人と適切に関わる力を育てる。
-------------	--

4 中・長期的な重点目標

安全・安心で開かれた学校づくり

【安全・安心な教育環境の整備】

- 1 保護者との連携に努め、子どもたちの健康面でのサインをしっかりと受け止めながら、適切な対応を心がけると共に、事故のない安全・安心な教育環境を整備していく。
- 2 適切な実施体制のもと医療的ケアを実施し、効果的な教育のために安全で確実な実施ができるよう整備を進める。

【危機管理体制の充実】

- 1 想定される災害（含む防災）等に対して、安全対策の充実を図る。

【人権教育、交流教育の充実】

- 1 人権教育基本方針をもとに、「差別の現実から深く学ぶ」ことを原則に、人権感覚あふれる学校づくりを推進する。
- 2 子どもたちが地域で生きるために、人権尊重の地域づくりをめざして、家庭訪問や交流及び共同学習を行い、その成果や課題を整理し、地域への発信を進める。

【進路指導の充実】

- 1 自立と社会参加を促進するため、医療、福祉、労働等の関係機関との連携を強化し、生徒の多様なニーズに対応することができるよう進路指導の充実を図る。

【学校関係者（外部）との連携】

- 1 学校関係者評価委員と継続的に連携をはかり、自己評価の結果を評価することを通じて、学校、家庭、地域が学校の現状と課題について共通理解を深め、学校運営の改善を促進する。

特別支援教育の推進

【個に応じた教育・支援の充実】

- 1 個別の教育支援計画および個別の指導計画を活用した、きめ細かな指導を図る。
- 2 子どもたちの個々の教育的ニーズに応じた教育課程の編成に努める。
- 3 授業において個別目標を具体化し、効果的な指導が展開できるよう検討をおこなう。また、授業研究を積極的にを行い授業の改善をおこなう。

【センター的機能の充実】

- 1 地域の療育センター、保育所・幼稚園、小・中学校、高等学校等との連携を図り、城山が有している人的資源、物的資源を積極的に提供し、センター的機能の充実に努める。

【教職員の専門性の向上】

- 1 学校の教育力を最大限に発揮するため、外部の専門家の活用も含め、校内外の研修の充実を図る。
- 2 特別支援教育における教職員の専門性の向上を図るため、研修の充実を図る。

学校組織力の向上

【組織能力の向上と、人材育成】

- 1 継続的な分掌等の運営や人材育成等について将来を見据えた課題の積極的な検討を進める。
- 2 自立活動のあり方・内容について検討を進める。
- 3 過重労働を削減するため業務の効率化に努め、総勤務時間の縮減を図る。

5 沿革

- 昭和 32 年 10 月 1 日 県立草の実学園設立と同時に津市立高茶屋小学校草の実分校、津市立南郊中学校草の実分校併設、肢体不自由教育始まる
- 昭和 37 年 3 月 27 日 昭和 37 年度より三重県立肢体不自由養護学校を設立することが県議会で決定
昭和 37 年 2 月 第 1 期工事着工（5 月完成 第 1 棟のみ）
昭和 37 年 3 月 第 2 期工事着工（6 月完成 寄宿舎 3、炊事室 1、浴場 1）
昭和 37 年 7 月 第 3 期工事着工（12 月完成 第 2、第 3、第 4 棟）
昭和 37 年 9 月 第 4 期工事着工（昭和 38 年 3 月完成 寄宿舎 6、浴場、電気給排水）
昭和 38 年 2 月 第 5 期工事着工（3 月完成 門、前庭、塀）
- 昭和 37 年 3 月 31 日 津市立高茶屋小学校草の実分校、津市立南郊中学校草の実分校廃止
- 昭和 37 年 4 月 1 日 三重県立養護学校設立
- 昭和 38 年 3 月 16 日 秩父宮妃殿下ご来校
- 昭和 38 年 5 月 11 日 三重県立養護学校竣工式
- 昭和 39 年 5 月 4 日 三重県立養護学校創立記念日に設定
- 昭和 41 年 3 月 19 日 昭和 41 年度より三重県立養護学校に高等部を設置することが県議会で決定
- 昭和 41 年 4 月 1 日 高等部設置
- 昭和 41 年 9 月 22 日 創立 5 周年記念竣工式典挙行 愛の像建立
第 4 回中部地区肢体不自由教育研究会開催
- 昭和 42 年 3 月 31 日 5 教室増築（318 m²） 運動場整備（2500 m²）
- 昭和 43 年 6 月 30 日 5 教室増築（318 m²） 塗装工事
- 昭和 44 年 2 月 16 日 3 教室増築 寄宿舎 3 室増築
- 昭和 46 年 3 月 31 日 高等部職業教室増築
- 昭和 46 年 9 月 21 日 創立 10 周年記念式典挙行 校舎外整備
第 9 回中部地区肢体不自由教育研究会開催
- 昭和 47 年 3 月 31 日 3 室増築 車庫改築
- 昭和 49 年 4 月 1 日 三重県立養護学校鈴鹿分校設置
- 昭和 49 年 8 月 31 日 寄宿舎改修
- 昭和 52 年 4 月 1 日 三重県立城山養護学校と校名変更
鈴鹿分校が三重県立杉の子養護学校として独立
- 昭和 54 年 1 月 1 日 養護学校義務制実施、草の実分教室が分校に昇格。原則として一志郡以北の児童生徒を本校に就学させることに決定
- 昭和 57 年 8 月 4 日 全国肢体不自由養護学校 PTA 連合会の主催による集団療育事業を本校で実施
- 昭和 57 年 10 月 13 日 第 20 回中部地区肢体不自由教育研究会開催
- 昭和 60 年 12 月 13 日 校舎全面改築第 1 期工事、寄宿舎棟工事着工
- 昭和 61 年 1 月 16 日 校舎全面改築第 1 期工事、浄化槽工事着工
- 昭和 61 年 7 月 12 日 第 1 期工事寄宿舎棟竣工
- 昭和 61 年 8 月 22 日 第 2 期工事（管理・食堂・特別教室）着工
- 昭和 62 年 4 月 8 日 第 2 期工事（管理・食堂・特別教室）竣工
- 昭和 62 年 8 月 18 日 第 3 期工事（体育館・特別教室）着工
- 昭和 63 年 3 月 30 日 第 3 期工事（体育館・特別教室）竣工
- 昭和 63 年 6 月 30 日 第 4 期工事（普通教室・特別教室・職員室）着工
- 平成 元年 3 月 20 日 第 4 期工事（普通教室・特別教室・職員室）竣工
- 平成 元年 6 月 13 日 第 5 期工事（スクールバス発着場・中央廊下・スロープ・作業棟）着工
- 平成 2 年 3 月 20 日 第 5 期工事（スクールバス発着場・中央廊下・スロープ・作業棟）竣工
- 平成 2 年 6 月 13 日 第 6 期工事（校庭整備）着工
- 平成 3 年 3 月 29 日 第 6 期工事（校庭整備）竣工
- 平成 3 年 11 月 22 日 創立 30 周年・校舎改築竣工・分校増築竣工記念式典挙行、学校創立記念日に変更
友愛の像建立、校歌額作成
- 平成 5 年 4 月 1 日 草の実分校が三重県立草の実養護学校として独立
- 平成 13 年 4 月 1 日 看護師配置
- 平成 16 年 12 月 1 日 スノーブレンルーム開設
- 平成 19 年 4 月 1 日 三重県立城山特別支援学校に校名変更
- 平成 21 年 4 月 1 日 三重県立草の実特別支援学校が統合となり草の実特別支援学校は三重県立城山特別支援学校草の実分校に校名変更
- 平成 24 年 9 月 14 日 各教室空調設備の整備完了
- 平成 29 年 4 月 1 日 三重県立城山特別支援学校草の実分校がかがやき特別支援学校に移管

6 教育課程

小学部

教科		類型	I					II				III				IV
		学年	1年	2年	3年	4年	5・6年	1年	2年	3年	4 ～ 6年	1年	2年	3年	4 ～ 6年	1 ～ 6年
各教科	国語		9	9	7	7	5	5	5	6	6	4	4	5	5	
	社会				2	3	3									
	算数		4	5	5	5	5	4	4	5	5	3	3	4	4	
	理科				3	3	3									
	生活		3	3				3	4	4	5	3	4	4	5	0.8
	音楽		2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	0.8
	図画工作		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0.8
	家庭						1									
	体育		3	3	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	
	外国語						2									
特別の教科	道徳		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0.5
領域別	特別活動		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0.1
	自立活動		1	1	1	1	1	8	8	8	8	10	10	10	10	3
総合的な学習の時間					2	2	2									
外国語活動					1	1										
週あたりの授業時間数			25	26	28	29	29	25	26	28	29	25	26	28	29	6
年間授業時間数			875	910	980	1015	1015	875	910	980	1015	875	910	980	1015	210

II類型 小学部3段階、2段階
 III類型 小学部1段階
 IV類型 訪問教育

中学部

教科		類型	I			II	III	IV
			学年		1年	2年	3年	1 ∪ 3 年
各教科	国語		4	4	3	4	4	0.5
	社会		3	3	4	2	2	0.2
	数学		4	3	4	4	4	
	理科		3	4	4	2	2	0.3
	音楽		1	1	1	2	2	0.5
	美術		1	1	1	1	1	0.5
	技術・家庭		2	2	1			
	職業・家庭					2	1	
	保健体育		2	2	2	1	1	
	外国語		4	4	4			
特別の教科	道徳		1	1	1	1	1	0.5
領域別	特別活動		1	1	1	1	1	0.5
	自立活動		2	2	2	8	10	3
総合的な学習の時間			1	1	1	1		
総授業時間数			29	29	29	29	29	6
年間授業時間数			1015	1015	1015	1015	1015	210

II類型：中学部2段階、1段階 小学部3段階、2段階

III類型：小学部1段階

IV類型：訪問教育

令和3年度 高等部 教育課程

課程 学年		I・II	III			IV
			A	B	C	
教科	学年	1 ～ 3 年	1 ～ 3 年	1 ～ 3 年	1 ～ 3 年	1 ～ 3 年
		各教科	国語	別紙	4	2
社会	3		1		1	0.3
数学	4		2		1	
理科	2		2		2	0.2
音楽	1		1		1	0.5
美術	1		1		1	0.5
職業	2		1			
家庭	1		1			
保健体育	2		1		1	
外国語						
特別の教科	道徳	1	1	1	0.5	
領域別	特別活動	1	1	1	0.5	
	自立活動	6	14	17	3	
総合的な探求の時間		2	2	2		
総授業時間数		30	30	30	30	6
年間授業時間数		1050	1050	1050	1050	210

教育課程Ⅲ → 知的障害者を教育する特別支援学校の各教科と代替した教育課程 (A・B・C)

教育課程Ⅳ → 訪問教育

高等部

令和3年度入学生 教育課程Ⅰ・Ⅱ

教科	科目	標準 単位数	教育課程Ⅰ			教育課程Ⅱ		
			1年	2年	3年	1年	2年	3年
国語	国語総合	4	4			2	3	3
	国語表現	3			3			
	現代文A	2		2				
	古典A	2		2				
地理歴史	世界史A	2	2			2		
	日本史A	2			□2			●2
	地理A	2			2			2
公民	現代社会	2		2			2	
	倫理	2			□2			●2
	政治・経済	2			□2			●2
数学	数学Ⅰ	3	3				3	3
	数学Ⅱ	4		2	2			
	数学A	2		2				
	数学B	2			☆2			
	数学基礎(学)					2		
理科	科学と人間生活	2	2			2	2	
	物理基礎	2		◎2	◎2			●2
	化学基礎	2		◎2	◎2			●2
	生物基礎	2		◎2	◎2			●2
保健体育	体育	7~8	2	2	3	2	2	3
	保健	2	1	1		1	1	
芸術	音楽Ⅰ	2		1	1	1	1	1
	美術Ⅰ	2		1	1	1	1	1
外国語	コミュニケーション英語基礎	2				2		
	コミュニケーション英語Ⅰ	3	4				2	4
	コミュニケーション英語Ⅱ	4		4				
	コミュニケーション英語Ⅲ	4			☆2			
	英語表現Ⅰ	2			2			
家庭	家庭基礎	2	2			2	2	
情報	社会と情報	2	2			2		
総合(学)	産業社会と人間(学)	2~4	3	3	3	3	3	3
科目の単位数の計			25	24	23	22	22	22
自立活動			2	3	4	5	5	5
特別活動	ホームルーム活動		1	1	1	1	1	1
総合的な探究の時間			3~6	2	2	2	2	2
総授業時間数			30	30	30	30	30	30

- * Ⅰ課程2年次において、◎から2単位選択する。
- * Ⅰ課程3年次において、□・☆・◎からそれぞれ2単位選択する。ただし、理科は2年次と同一科目は選択できない。
- * Ⅱ課程3年次において、●から2単位を選択する。
- * 道徳に関しては、道徳教育全体計画に基づき、教育活動全体を通じて取り扱う。

教育課程Ⅰ→高等学校の学習指導要領に準ずる教育課程
 教育課程Ⅱ→下学年もしくは下学部代替による教育課程

令和4年度 高等部 教育課程

課程 学年		I・II	III			IV
			A	B	C	
教科	学年	1 ～ 3 年	1 ～ 3 年	1 ～ 3 年	1 ～ 3 年	1 ～ 3 年
		各教科	国語	別紙	4	2
社会	3		1		1	0.3
数学	4		2		1	
理科	2		2		2	0.2
音楽	1		1		1	0.5
美術	1		1		1	0.5
職業	2		1			
家庭	1		1			
保健体育	2		1		1	
外国語						
特別の教科	道徳		1	1	0.5	
領域別	特別活動		1	1	0.5	
	自立活動		6	14	17	3
総合的な探求の時間			2	2	2	
総授業時間数		30	30	30	30	6
年間授業時間数		1050	1050	1050	1050	210

教育課程Ⅲ → 知的障害者を教育する特別支援学校の各教科と代替した教育課程 (A・B・C)

教育課程Ⅳ → 訪問教育

令和4年度入学生 教育課程Ⅰ・Ⅱ

教科	科目	教育課程 標準 単位数	教育課程Ⅰ			教育課程Ⅱ		
			学年	1年	2年	3年	1年	2年
国語	現代の国語	2	2			3		
	言語文化	2	2			1	1	
	論理国語	4		2	2			
	文学国語	4						
	国語表現	4					2	2
地理歴史	古典探究	4		2	2			
	地理総合	2		2			2	
	地理探究	3			○3			●4
	歴史総合	2	2			2		
	日本史探究	3		○3	○3			●4
公民	世界史探究	3		○3	○3			●4
	公共倫理	2	2			2		
	政治・経済	2		●2	●2		●4	
数学	数学Ⅰ	3	3			2	2	2
	数学Ⅱ	4		2	3			
	数学Ⅲ	3						
	数学A	2		2				○4
	数学B	2			●2			
理科	数学C	2						
	科学と人間生活	2	2			2	2	
	物理基礎	2		◎2	◎2			◎4
	物理	4						
	化学基礎	2		◎2	◎2			◎4
	化学	4						
	生物基礎	2		◎2	◎2			◎4
	生物	4						
保健体育	地学基礎	2		◎2	◎2			◎4
	地学	4						
	体育	7~8	2	2	3	2	2	3
	保健	2	1	1		1	1	
芸術	音楽Ⅰ	2	1	1		1	1	
	音楽Ⅱ	2						
	美術Ⅰ	2			2		1	1
	美術Ⅱ	2						
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	4			2	2	2
	英語コミュニケーションⅡ	4		2	2			
	英語コミュニケーションⅢ	4						
	論理・表現Ⅰ	2			2			○4
	論理・表現Ⅱ	2						
家庭	論理・表現Ⅲ	2						
	家庭基礎	2	1	1		2	2	
情報	家庭総合	4						
	情報Ⅰ	2	2			2		
	情報Ⅱ	2			●2			○4
総合的な探究の時間		3~6	2	2	2	2	2	2
自立活動			3	3	4	5	5	5
特別活動			1	1	1	1	1	1
週あたりの授業時数			30	30	30	30	30	30

- * 教育課程Ⅰ 2年次は、●◎から2単位、○から3単位それぞれ科目を選択する。
- * 教育課程Ⅰ 3年次は、●◎から2単位、○から3単位それぞれ科目を選択する。
- * ただし、地理歴史、公民、理科は2年次と同一科目は選択できない。
- * 教育課程Ⅱ 2年次は、●から4単位科目を選択する。
- * 教育課程Ⅱ 3年次は、●◎○から4単位それぞれ科目を選択する。

令和5年度 高等部 教育課程

教科		類型	I	II	III	IV
		学年	1 \	1 \	1 \	1 \
			3 年	3 年	3 年	3 年
各教科	国語	別紙		4	4	0.5
	社会			3	1	0.3
	数学			4	4	
	理科			2	1	0.2
	音楽			1	2	0.5
	美術			1	1	0.5
	職業			2	1	
	家庭			1	2	
	保健体育			1	2	
	外国語					
特別の教科	道徳		1	1	0.5	
領域別	特別活動		1	1	0.5	
	自立活動		8	10	3	
総合的な探求の時間			1			
総授業時間数			30	30	30	6
年間授業時間数			1050	1050	1050	210

II類型 高等部2段階、1段階、中学部2段階、1段階
小学部3段階、2段階

III類型 小学部1段階

IV類型 訪問教育

令和5年度入学生 高等部 教育課程 I

教科	科目	類 型	標準 単位数	I		
				1年	2年	3年
国語	現代の国語		2	2		
	言語文化		2	2		
	論理国語		4		2	2
	文学国語		4		★2	★2
	国語表現		4		★2	★2
	古典探究		4		★2	★2
地理歴史	地理総合		2	2		
	地理探究		3		●2	●2
	歴史総合		2	2		
	日本史探究		3		●2	●2
	世界史探究		3		●2	●2
公民	公共		2	2		
	倫理		2			△2
	政治・経済		2			△2
数学	数学Ⅰ		3	3		
	数学Ⅱ		4		2	2
	数学Ⅲ		3			
	数学A		2	1	1	
	数学B		2			△2
	数学C		2			△2
理科	科学と人間生活		2	2		
	物理基礎		2			□2
	物理		4			
	化学基礎		2			□2
	化学		4			
	生物基礎		2		2	
	生物		4			
	地学基礎		2			□2
	地学		4			
保健体育	体育		7～8	2	2	3
	保健		2	1	1	
芸術	音楽Ⅰ		2		1	1
	音楽Ⅱ		2			
	美術Ⅰ		2		1	1
	美術Ⅱ		2			
外国語	英語コミュニケーションⅠ		3	3		
	英語コミュニケーションⅡ		4		2	2
	英語コミュニケーションⅢ		4			
	論理・表現Ⅰ		2	1	1	
	論理・表現Ⅱ		2			△2
	論理・表現Ⅲ		2			
家庭	家庭基礎		2			
	家庭総合		4		2	2
情報	情報Ⅰ		2		2	2
	情報Ⅱ		2			
総合的な探究の時間			3～6	2	2	2
自立活動				4	4	4
特別活動				1	1	1
総授業時数				30	30	30
年間授業時数				1050	1050	1050

* 2年次は、★●からそれぞれ1科目ずつ選択する。

* 3年次は、□△からそれぞれ1科目ずつ選択する。なお、★●は2年次選択した科目を履修することとする。

7 児童生徒数及び通学方法

令和5年5月1日現在

学部	学 級	生徒数計	通 学 方 法		訪 問
			SB	自主	
小 学 部	1組	2	1	1	0
	2組	3	2	1	0
	3組	2	1	1	0
	4組	2	0	2	0
	5組	2	0	2	0
	6組	3	1	2	0
	7組	2	1	1	0
	8組	2	1	1	0
	9組	1	0	0	1
	小 計	19	7	11	1
中 学 部	3年	1	0	1	0
	1組	3	2	1	0
	2組	3	0	0	3
	3組	3	2	1	0
	4組	2	2	0	0
	5組	3	1	2	0
	小 計	15	7	5	3
高 等 部	1組	3	1	2	0
	2組	3	1	2	0
	3組	3	3	0	0
	4組	3	2	1	0
	5組	3	1	2	0
	6組	3	1	2	0
	7組	2	2	0	0
	8組(訪問)	1	0	0	1
	小 計	21	11	9	1
合 計	55	25	25	5	

8 出身市別児童生徒数

令和5年5月1日現在

	鈴鹿市	亀山市	津市	その他の地域	合計
小学部	0	2	15	2	19
中学部	2	0	11	2	15
高等部	2	3	15	1	21
合計	4	5	41	5	55

9 校時表

	小学部	中学部・高等部
第1限	8:55 ~ 9:40	8:55 ~ 9:45
第2限	9:50 ~ 10:35	9:50 ~ 10:40
第3限	10:45 ~ 11:30	10:45 ~ 11:35
第4限	11:40 ~ 12:25	11:40 ~ 12:30
昼食・休憩		
第5限	13:15 ~ 14:00	13:15 ~ 14:05
第6限	14:10 ~ 14:55	14:10 ~ 15:00
○スクールバス学校発車時刻		
通常の日～金		15:05
短縮日課		13:15
特別日課（始業式、入学式等）		11:05

10 職員構成

校長	教頭	教諭（看護師含む）	講師	非常勤講師	養護教諭	実習教員	栄養職員	事務職員	事務職員	学校図書	学校教育技術員	介助員	講師（看護師）	バス添乗員	小計
1	1	44	7	10	2	4	1	1	5	1	1	3	4	6	91

学校医	歯科医	眼科医	薬剤師	産科医	小計	合計
2	1	1	1	1	6	97

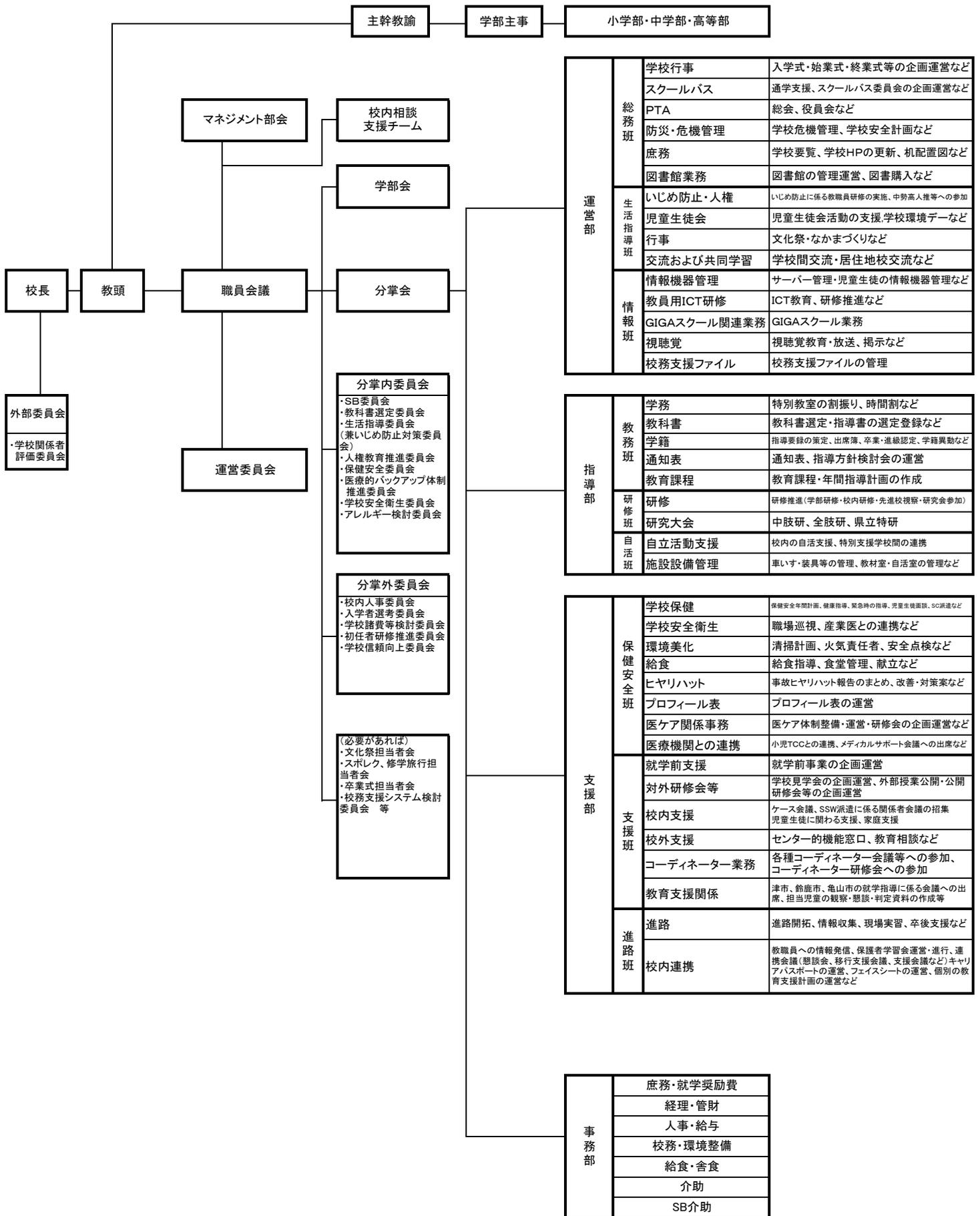
11 卒業生の進路（過去10年間）

年 度	学 部	卒 業 時 進 路								
		進 学	職 業 能 力 開 発 校	就 職	各 種 学 校	福 祉 的 就 労	生 活 介 護	施 設 入 所	そ の 他	合 計
25	中	7								7
	高					4	10			14
26	中	6								6
	高	1		1		1	8			11
27	中	6								6
	高		1		1		2		1	5
28	中	9								9
	高						6			6
29	中	6								6
	高						7			7
30	中	4								4
	高						7			7
31	中	8								8
	高			1			6		1	8
R2	中	11								11
	高			1			5		2	8
R3	中	4					1			5
	高					2	6	1		9
R4	中	2							1	3
	高						4		1	5

12 スクールバス運行表

鈴鹿コース		亀山コース		一志コース	
(登校)	(下校)	(登校)	(下校)	(登校)	(下校)
鈴鹿市役所 7:05		和田 7:15	16:15	農業大学校 7:30	16:00
	鈴鹿市消防本部 16:15				
鈴鹿体育館 7:15	16:05	亀山医療センター 7:20	16:05		
千里 7:35	15:50				
白塚 7:45		芸濃町 (ザ・ビッグ) 7:45	15:45	みのりが丘前 7:45	
				一志庁舎前 7:55	
イオン津 8:10	15:30			田尻 15:37	
住吉町 8:20	15:25	メッセウイング 8:15	15:25	戸木口 8:15	15:27
		立合町 8:30	15:15	久居駅西口 8:25	15:23
学 校		学 校		学 校	
8:45	15:05	8:45	15:05	8:45	15:05

13 学校運営組織図



運営部	総務班	学校行事	入学式・始業式・終業式等の企画運営など
		スクールバス	通学支援、スクールバス委員会の企画運営など
		PTA	総会、役員会など
		防災・危機管理	学校危機管理、学校安全計画など
		庶務	学校要覧、学校HPの更新、机配置図など
	生活指導班	図書館業務	図書館の管理運営、図書購入など
		いじめ防止・人権	いじめ防止に係る教職員研修の実施、中勢高人権等への参加
		児童生徒会	児童生徒会活動の支援、学校環境デーなど
		行事	文化祭・なまこまつりなど
		交流および共同学習	学校間交流・居住地校交流など
情報班	情報機器管理	サーバー管理・児童生徒の情報機器管理など	
	教員用ICT研修	ICT教育、研修推進など	
	GIGAスクール関連業務	GIGAスクール業務	
	視聴覚	視聴覚教育・放送、掲示など	
	校務支援ファイル	校務支援ファイルの管理	

指導部	教務班	学務	特別教室の割振り、時間割など
		教科書	教科書選定・指導書の選定登録など
		学籍	指導要録の策定、出席簿、卒業・進級認定、学籍異動など
		通知表	通知表、指導方針検討会の運営
	研修班	教育課程	教育課程・年間指導計画の作成
		研修	研修推進(学部研修・校内研修・先進校視察・研究会参加)
		研究大会	中肢研、全肢研、県立特研
		自立活動支援	校内の自活支援、特別支援学校間の連携
自活班	施設設備管理	車いす・器具等の管理、教材室・自活室の管理など	

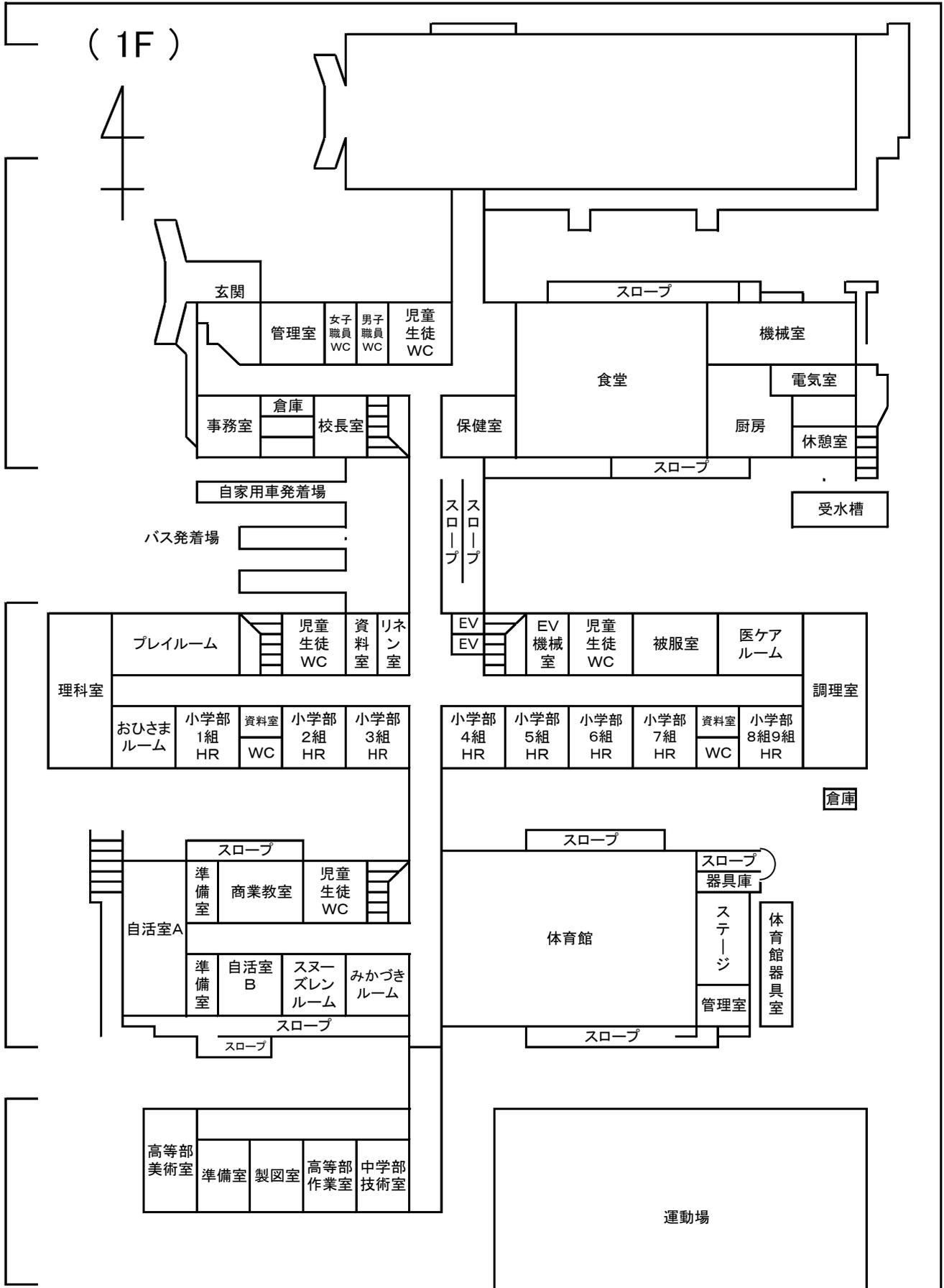
支援部	保健安全班	学校保健	保健安全年間計画、健康指導、緊急時の指導、児童生徒面談、SC派遣など
		学校安全衛生	職場巡視、産業医との連携など
		環境美化	清掃計画、火気責任者、安全点検など
		給食	給食指導、食堂管理、献立など
		ヒヤリハット	事故ヒヤリハット報告のまとめ、改善・対策案など
		プロフィール表	プロフィール表の運営
		医ケア関係事務	医ケア体制整備・運営・研修会の企画運営など
		医療機関との連携	小児TCCとの連携、メディカルサポート会議への出席など
	支援班	就学前支援	就学前事業の企画運営
		対外研修会等	学校員学会の企画運営、外部授業公開・公開研修会等の企画運営
		校内支援	ケース会議、SSW派遣に係る関係者会議の招集 児童生徒に関わる支援、家庭支援
		校外支援	センター的機能窓口、教育相談など
		コーディネーター業務	各種コーディネーター会議等への参加、 コーディネーター研修会への参加
	進路班	教育支援関係	津市、鈴鹿市、亀山市の就学指導に係る会議への出席、 担当児童の観察・懇談・判定資料の作成等
		進路	進路開拓、情報収集、現場実習、卒後支援など
進路班	校内連携	教職員への情報発信、保護者学習会運営・進行、 連携会議(懇談会、移行支援会議、支援会議など)キャリア パスポートの運営、フェイスシートの運営、個別的教育 支援計画の運営など	

事務部	庶務・就学奨励費
	経理・管財
	人事・給与
	校務・環境整備
	給食・舎食
	介助
	SB介助

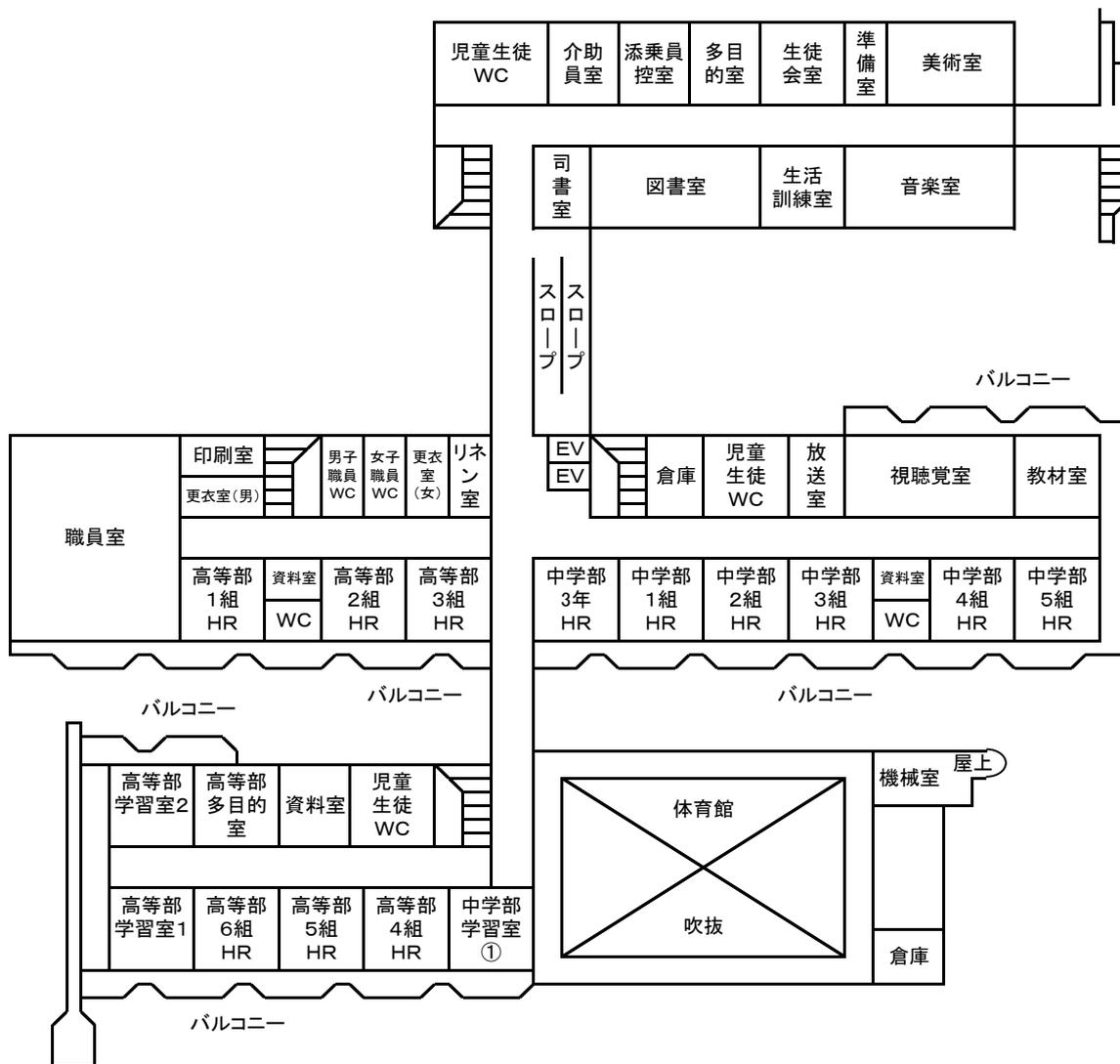
14 学校年間行事

月	学校全体	小学部	中学部	高等部
4月	○始業式 ○入学式 ○身体測定、聴力検査 心電図検査、眼科検診 歯科検診 視力検査、尿検査、X線検査	○授業参観 ○学部懇談会	○授業参観 ○学部懇談会	○学部集会 ○進路懇談会
5月	○体重測定 ○視力検査、尿検査 耳鼻科検診 整形検診、内科検診 ○危機対応訓練 ○PTA総会 ○保護者懇談会	○スポレク	○スポレク	○学部懇談会 ○進路懇談会 ○スポレク
6月	○体重測定 ○学校見学会	○宿泊学習(城山)	○宿泊学習(城山)	○宿泊学習(城山)
7月	○体重測定 ○保護者懇談会 ○大掃除 ○終業式			○高3 現場実習
8月				
9月	○始業式 ○身体測定 ○危機対応訓練		○修学旅行(伊勢志摩)	
10月	○体重測定 ○文化祭	○修学旅行(伊勢志摩)		○高1・2現場実習
11月	○体重測定			○修学旅行(大阪)
12月	○体重測定 ○保護者懇談会 ○大掃除 ○終業式			
1月	○始業式 ○身体測定 ○災害伝言ダイヤル体験 ○危機対応訓練			
2月	○体重測定 ○高等部入学者選考	○卒業を祝う会 ○入学説明会	○卒業を祝う会 ○入学説明会	○卒業を祝う会
3月	○体重測定 ○卒業式 ○保護者懇談会 ○大掃除 ○修了式			○入学選考(再募集) ○入学説明会
		○交流学习(立成小) ○校外学習	○校外学習 ○交流学习(西郊中)	

15 校舎施設配置図



(2F)

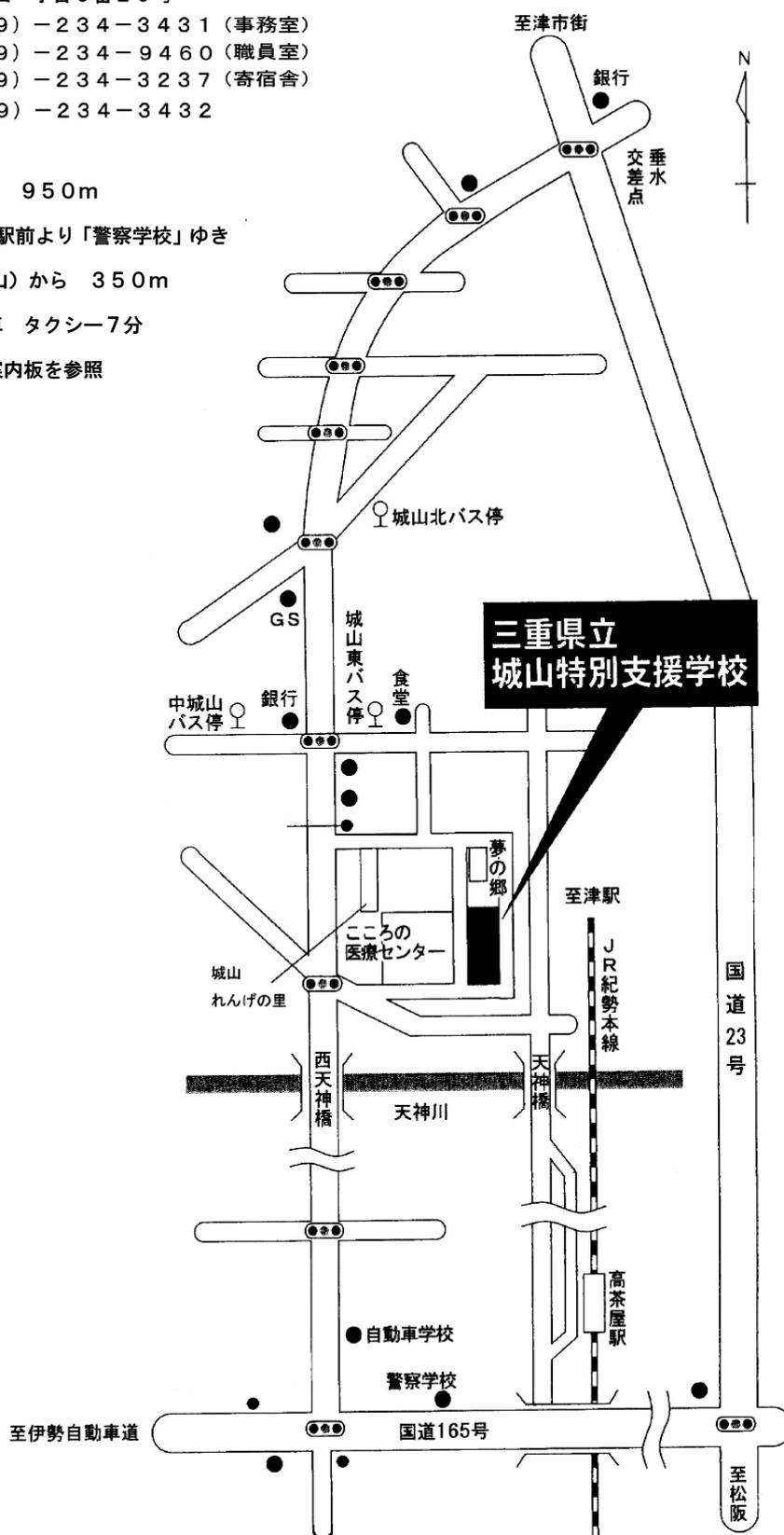


校地面積	18,427㎡
校舎面積	7,368㎡
寄宿舍面積	768㎡
運動場面積	3,691㎡

16 学校案内図

〒514-0818 津市城山一丁目5番29号
 TEL (059)-234-3431 (事務室)
 (059)-234-9460 (職員室)
 (059)-234-3237 (寄宿舍)
 FAX (059)-234-3432

- JR高茶屋駅から 950m
- 三重交通バス・津駅前より「警察学校」ゆき
「城山東」(中城山) から 350m
- 近鉄・久居駅下車 タクシー7分
- 自家用車の方は案内板を参照





校章の由来

本県のシンボルでもある威勢の良いイセエビにあやかって、障がいを克服して精進してほしいという願いを込めたものです。

三尾にしたのは、三重の意のほか、小・中・高の三学部、児童生徒・職員・保護者の三者、本校教育の柱である明朗・自立・友愛などを意味するものです。

それを組み合わせて円形にし、三者の協調と人格の円満と和を祈念しました。